

平成25年6月6日

交野市長 中田 仁公 殿

交野市環境マネジメントシステム
監査チーム

主任監査員 玉井八恵子
副主任監査員 小西仁志
副主任監査員 江崎美枝子

独自目標監査報告書

LAS-E独自目標の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日時

平成25年6月6日（木） 13:00～14:00

2. 監査対象

交野市役所

3. LAS-E 監査内容

【独自目標（平成24年度実績）監査】

① エコアクション(環境活動)	第1ステージ	1-12
② エコマネジメント(環境経営)	第1ステージ	1-23
③ エコガバナンス(環境自治)	第1ステージ	1-30

4. 監査結果

部門	項目	平成24年度 数値目標	達成状況	部門評価
エコアクション	電気使用量	電気使用量を、平成21年度を基準にして1.5%削減する。		
	ガソリン使用量	ガソリン使用量を、平成21年度を基準にして1.0%削減する。	×	
	軽油使用量	軽油使用量を、平成21年度を基準にして2.5%削減する。		
	灯油使用量	灯油使用量を、平成21年度を基準にして2.0%削減する。		
	LPG使用量	LPG使用量を、平成21年度を基準にして22.0%削減する。		
	都市ガス使用量	都市ガス使用量を、平成21年度を基準にして4.0%削減する。	×	
	水使用量	水の使用量を、平成21年度を基準にして4.0%削減する。 (水道局・総合体育施設を除く全施設(ただし、学校のプールは除く))		
	廃棄物の排出量	廃棄物の排出量を、平成23年度より削減する。		
	コピー用紙の使用量(購入量)	コピー用紙の使用量(購入量)を平成23年度より削減する。	×	
CO ₂ 換算温室効果ガス排出量	CO ₂ 換算温室効果ガス排出量を、平成21年度を基準にして1.5%削減する。 (水道局・総合体育施設を除く全施設)			
エコマネジメント	職員研修の回数	環境マネジメント推進本部長が指示するテーマによる職員研修を、年2回以上開催する。		
	実行責任者研修の回数	環境マネジメント推進本部長が指示するテーマによる実行責任者研修を、実行責任者に年2回以上開催する。		
	環境に配慮した独自の取り組み目標の設定	各職場において環境に配慮した独自の取り組み目標を1つ以上設定する。		
エコガバナンス	環境に関する情報の提供	環境に関する情報を広報誌やホームページ等で年6回以上提供する。		

達成状況： = 達成、× = 未達成

評価： = 良好、 = 改善要望、× = 勧告

5. 所見

(1) 評価

平成24年度の独自目標について監査した結果、エコアクション、エコマネジメント、エコガバナンスのすべてについて「良好()」と評価しました。

(2) エコアクションについて

個々の達成状況をみると、10項目のうち3項目で目標を達成していませんでした。ガソリン使用量については、国や大阪府が行っていた35の事務が委譲されてきたこと、都市ガスについては平成24年度から学校でエアコンが1年を通じて稼動したこと、コピー用紙の使用量(購入量)については案内文等の印刷物が全体的に増加したことなどが主な原因とされています。

一方で、電気使用量は乙辺浄化センターの稼働停止を除いても3.4%削減、灯油使用量は給食センターの稼働時間見直しもあり7.3%削減、水使用量は13.5%削減、廃棄物の排出量は7.9%削減などにより、温室効果ガス排出量が基準年の平成21年度比で2.6%削減されていました。これまで既に大幅に削減された上でさらに努力されている様子が実績数値に表れていることから「良好()」と評価しました。

(3) エコマネジメント、エコガバナンスについて

実行責任者、新規採用職員、一般職員向けの研修が、目標以上に実施されています。職場ごとの独自目標も設定され、評価も実施されました。広報「かたの」への環境に関する情報も毎月掲載されました。いずれも目標以上によく実施されており、「良好()」と評価しました。

(4) 今後の取り組みについて

電気使用量については、職員ではないかもしれませんが別館1階の男子トイレで度々電気の消し忘れがあるという指摘があります。耐震工事を実施する際に人感センサーを導入することもご検討ください。

ガソリン使用量については、エコドライブ講習を実施したにもかかわらず燃費に変化がないということです。話を聞くだけでなく実地による講習も取り入れてみてはいかがでしょうか。

都市ガス使用量については、夏休み中の小学校を利用した涼み処は、市民が来校したらエアコンを入れるということで省エネに心がけているようですが、期間中の利用者が延べ23名とのことです。むしろこの機会に他の公共施設や民間施設を利用するきっかけをつくるようなことができないかについてもご検討ください。

全体として、目標達成できなかった項目、達成できた項目、それぞれ具体的にどのような原因によるものか、もう少し掘り下げた分析が望まれます。分析することによって、対応策の検討が可能となります。